2026年Ｖ模範解答

持続可能な循環型社会の実現へ向けた環境負荷の軽減対策として、具体例の中から廃棄物の抑制と繊維製品のリサイクルに焦点をしぼり、生産者の立場から衣料品のロングライフ化を提案する。昨今の衣料品における低価格化と販売形態の多様化は、大量消費型の消費者を増加させていると思われる。そこで衣料購入者が、購入後長く使用することを目標に、衣料品の耐久性を向上させてロングライフ化を図り、衣料廃棄物の抑制を進める。その具体的手段として、素材開発においては原材料の選定だけでなく、テキスタイルとしての耐久性とデザイン性とのバランスを重視し、見た目だけではない素材の開発を行う。また抗ピル性や摩耗強度など、繰り返し着用しても衣料品の美しさが損なわれない機能性も重要である。さらにデザイン面では、一時の流行に捕らわれず多年度における使用につなげることも重要である。このように素材の耐久性とデザイン性を両立された製品とすることで、衣料廃棄物の抑制だけでなく繊維製品のリサイクルにも寄与すると思われる。消費者に対しては、次回購入時に使用できるポイントの付与など、リサイクルに興味を持ってもらうことも必要である。また不動在庫となった衣料品については、店舗から回収する取り組みを構築し、別デザインに加工するなど、再加工して販売することも考えられる。

その一方で、これら取り組みによって生じる可能性のある課題も考えられる。衣料品製造業では、商品のロングライフ化による売り上げ低下が予想される。またリサイクル事業への投資と回収の難しさも予想できる。しかし、製品の価値を高めて消費者の満足度を大きくすることは、繊維製品を扱う生産者としての社会的役割として求められていることではないかと考える。すでに大量消費型社会を見直す時期は来ており、持続可能な循環型社会の実現に向けて、こうした事を忘れない生産者で有ることが重要であると考える。　（795 文字）